

# スマートインターチェンジ整備促進議員連盟立ち上げ

6月定例会において、横手市議会スマートインターチェンジ整備促進議員連盟が発足しました。

この会は横手市議会議員全議員をもって構成され、秋田自動車道の横手市管内にスマートインターチェンジの設置の早期実現を図ることが目的となります。

7月26日に開かれた総会の場で正副会長、事務局長、幹事が選任され、今後の活動のあり方について協議がなされました。

- 〔会長〕 奥山 豊
- 〔副会長〕 佐藤徳雄
- 〔事務局長〕 木村清貴
- 〔幹事〕 鈴木勝雄
- 高橋 大 阿部正夫

8月16日の同議員連盟総会において当市から選出の鶴田有司、柴田正敏、土谷勝悦、小田嶋伝一の4名の県議会議員を紹介議員とし、秋田自動車道（横手・大曲間及び湯田・横手間）への簡易IC設置に関する請願書を秋田県議会に提出することと、

秋田県知事に対し要望書を提出することが決定されました。請願書、要望書の内容は以下のとおりです。

秋田自動車道（横手・大曲間及び湯田・横手間）への簡易IC設置に関する請願書・要望書  
（請願・要望の趣旨）

秋田自動車道は、県内陸部と県中央部、日本海側と太平洋側を広域的に連結するとともに、首都圏に通ずる物流、交流の基幹ネットワークであるが、特に横手、湯沢、雄勝地域においては、観光資源や農業などの地域資源を活用しての交流や産業振興など地域活性化を図る上では、秋田自動車道をはじめ、高速ネットワークの活用促進はきわめて重要である。しかしながら、当該IC間はいずれも約20km間隔と極めて長く、高速道路利用者にとつて必ずしも良好な環境にあるとはいえない現状にある。よって、現在、国が進めている高速ネットワークの活用促進方策としての「簡易ICの設置促進」についてのご配意を要望するものである。

簡易IC設置に関する請願書を県議会議長に、要望書を県知事に提出

以上のことを受け、8月23日、奥山会長、木村事務局長、高橋幹事、石山市議会議長の他、鶴田県議、柴田県議、土谷県議、小田嶋県議にも同行いただき、佐竹敬久知事に要望書、富樫博之県議会議長に請願書を提出しました。

佐竹知事からは好感を持って対応いただき、事業費や設置場所の検証や国との協議等も含め検討に値するとの回答をいただきました。また、富樫議長にも好感をもって対応いただき、前向きに協力するとの回答をいただきました。



佐竹県知事へ要望書を提出

## 果樹振興議員連盟



研修会のような様子

### 果樹振興議員連盟研修会・7月23日開催（十文字文化センター）

果樹振興議員連盟は研修会を開き、果樹生産者との意見交換を中心に、その後JAから果樹作物全般の作柄と出荷状況について報告を受けました。

議員連盟からの参加者9名と、生産者からの参加者は、りんご、横手もも、増田さくらんぼ、十文字おうとう各部長でした。出席者からは、販売キャンペーンでは市長や議員などの人的支援を頂きたい、苗木の補助は今後も続けてもらいたい、収穫したものはその日のうちに出荷する意気込みで頑張っているなど様々な発言をいただきました。

生産者からの要望が多く、議員連盟への期待の大きさが感じられました。